令和8年度 全国学力・学習状況調査 結果チャートの改善について

1. 結果チャートの見直し経緯

資料2-3 全国的な学力調査に 関する専門家会議 (令和7年度第7回)

2025年12月3日 (水)

10:00~10:45

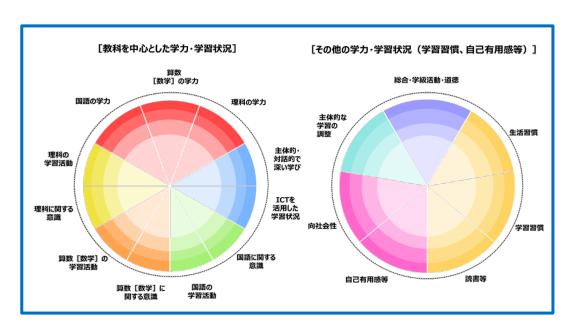
- **各学校において自らの児童生徒の学力・学習状況等を多面的な分析を行う**ことをねらいとして提供(平成21年度~)
- **令和7年度から、**児童生徒の学力・学習状況をより細やかに分析し、特徴を把握しやすくする観点から、2つの結果チャートの領域構成と利用する児童生徒質問の項目を見直し、「**都道府県・指定都市の結果チャート」を初めて公表。**

<教科を中心とした学力・学習状況の領域名と児童(生徒)質問番号の対応一覧表>

領域番号	領域名	児童(生徒)質問 対応領域·質問番号					
1	国語の学力						
2	算数(数学)の学力						
3	理科の学力						
4	主体的・対話的で深い学び	(31)~(35)(37)(39)					
5	ICTを活用した学習状況	(28)(29)					
6	国語に関する意識	(44)(45)(47)					
7	国語の学習活動	(46)(48)~(51)					
8	算数(数学)に関する意識	(52) (53) (55) (56)					
9	算数(数学)の学習活動	(54)(57)~(59)					
10	理科に関する意識	(60)(61)(63)~(65) 小学校 (60)(61)(63)~(66) 中学校					
11	理科の学習活動	(62)(66)~(70) 小学校 (62)(67)~(70) 中学校					

[※]領域番号 1~3については、各教科の全国平均正答率(中学校の領域番号 3 については全国平均IRTスコア) を基準として比較したものである。

[※]領域番号4~11については、「小学校児童(中学校生徒)質問対応領域・項目番号」に表示した質問にお ける「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。



<その他の学力・学習状況(学習習慣、自己有用感等)の領域名と児童(生徒)質問番号の対応一覧表>

領域番号	領域名	児童(生徒)質問 対応領域·質問番号					
1 2	総合·学級活動·道徳	(40)~(43)					
1 3	生活習慣	(1)~(3)					
1 4	学習習慣	(17)(19)					
1 5	読書等	(21)~(24)					
16	自己有用感等	(5)(6)(10)(12)(14)(15)					
17	向社会性	(8)(9)(11)(27)					
18	主体的な学習の調整	(16)(36)					

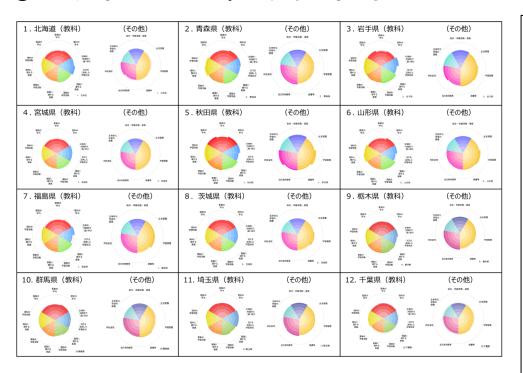
※領域番号12~18については、「小学校児童(中学校生徒)質問対応領域・項目番号」に表示した 質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。 都道府県・指定都市別の児童生徒・学校質問調査の「領域別回答状況」の得点換算方法

- (1) 学校別に、領域ごとの質問項目回答割合から、肯定的な回答割合が高いほど点数が高くなるよう得点を算出。
- (2) (1)で学校別に算出した得点を全国平均が0、標準偏差が1になるように標準化する。
- (3) 当該都道府県(又は指定都市)内の算出の対象とする全学校について、(2)の数値の平均を算出する。
- (4) (3)で算出された得点に5.0を加える。

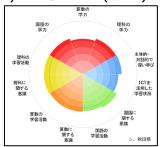
<参考:令和7年度の都道府県・指定都市の結果チャート>

①都道府県・指定都市結果チャート一覧

②都道府県・指定都市別ノート



(例)小学校 秋田(教科)



「国語に関する意識」の数値が高い

中学校 岩手(その他)



「向社会性」の数値が高い

令和7年度 全国学力・学習状況調査 都道府県・指定都市別ノート

83.●●県 イメージ

【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

	Ξ	ä	算	数	理	料	
	100		100		100 -		
	90	-	90		90		
	80	H	80		80		
	70 -	H	70		70		
	60 -	H	60	+	60		
	50		50 -	H	50	-	
	40		40 -	H	40		
	30		30		30	\vdash	
	20		20		20	\vdash	
	10		10		10		
	0				0	<u> </u>	
	●●県	全国 (公立)	●●県	全国 (公立)	●●県	全国 (公立)	
第3四分位	85.7	85.7	81.3	81.3	76.5	76.	
第2四分位	71.4	71.4	62.5	62.5	58.8	58.8	
第1四分位	57.1	50.0	37.5	37.5	41.2	41.2	
平均	68	66.8	59	58.0	57	57.	
標準偏差	22.1	21.7	26.5	25.3	22.9	22.	

<正答数の層分布>

く止沓敷の	智分中>												
		国語 □0~6周 □7~9周 □10~11周 □12~14周 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100				算数				理科			
						□0~5間 □6~9間 □10~12間 □13~16間 □ 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100				□0~6間 □7~9間 □10~12間 □13~17間 □ 10 20 30 40 50 80 70 80 90 100			
	◆◆馬(公立) 全面(公立)				+B(92)				●●第(公主) ±第(公主)				
78	D曆	C層	B層	A層	D曆	C層	B層	A層	D層	C層	B層	A層	
正答数	0~6間	7~9間	10~11間	12~14間	0~5間	6~9[5]	10~12間	13~16間	0~6間	7~9間	10~12	13~17間	
●●県(公立	18.4	29.2	25.9	26.5	21.7	30.8	25.3	22.2	21.2	21.7	29.9	27.2	
全国(公立)	17.9	28.6	26.0	27.6	20.1	20.1	25.6	25.3	21.6	21.3	30.0	27.1	

<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)





【2】全体の特徴

- 全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ▶D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・●●教科・●●教科について、全国の結果と比較して、D層の割合、パンド1の割合が多い結果となっている。他の教科につて、D層の割合、パンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校(中学校)においては、「●●」や「●●」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「●●」や「●●」 領域のスコアについて、低い結果が出ている。

2. 令和8年度調査 結果チャートの方向性

今回改善・公表した、令和 7 年度の結果チャートの枠組みは維持しつつ、更なる改善に向けて、レイアウトや内容等について一部変更を行う。

